

報告事項イ

鳥取県立博物館開館40周年記念講演会について

鳥取県立博物館開館40周年記念講演会の開催について、別紙のとおり報告します。

平成25年1月15日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

鳥取県立博物館開館40周年記念講演会について  
－博物館の未来を考える－

平成25年1月15日  
博 物 館

- 1 趣 旨 鳥取県立博物館が開館40周年を迎えたのを機に、講演会及びシンポジウムを開催し、地域社会における博物館の意義や役割を県民とともに考える機会とする。
- 2 日 時 平成25年2月2日（土）14：00～17：00
- 3 会 場 鳥取県立博物館講堂
- 4 内 容 講演会、シンポジウム [定員250名]
  - (1) 開会挨拶 藤井喜臣副知事
  - (2) 基調報告 県立博物館の現状と課題 山内有明 齋（鳥取県立博物館）
  - (3) 講 演 博物館に期待するもの 林田英樹氏（元文化庁長官）
  - (4) シンポジウム 博物館がつくる社会の未来 林田英樹氏（ 〃 ）  
半田昌之氏（日本博物館協会専務理事）  
井島真知氏（林原自然科学博物館エデュケーター）  
山内有明 齋（鳥取県立博物館）
  - (5) 閉 会(※) 閉会后、開催中の企画展「発掘された日本列島2012」見学会、レセプションを実施。
- 5 講師等紹介
  - (1) 講 演 講 師：林田英樹氏 元文化庁長官、元国立科学博物館、前国立新美術館長、鳥取県県政顧問
  - (2) パネリスト：半田昌之氏 日本博物館協会専務理事、たばこと塩の博物館学芸部長  
井島真知氏 林原自然科学博物館エデュケーター、鳥取県立博物館協議会委員  
山内有明 齋 鳥取県立博物館長

【鳥取県立博物館概要】

1 沿革

- ・昭和47年 4月 1日 「鳥取県立科学博物館」を「鳥取県立博物館」と改称
- ・昭和47年10月 1日 現在地に鳥取県立博物館竣工
- ・昭和60年11月 3日 皇太子殿下、同妃殿下が当館を御視察
- ・平成14年 4月10日 バリアフリー工事完成（スロープ、手すり、身障者トイレ等）
- ・平成18年 4月 1日 「山陰海岸学習館」を博物館に附置
- ・平成22年 9月12日 「山陰海岸学習館」リニューアルオープン

2 概要

- ・設 立 昭和47年10月 1日
- ・構 成 総合博物館（自然、人文、美術の3分野）
- ・保有資料 総数 約24万7千点
  - 自然分野：地学、動物、植物資料等 約16万6千点
  - 人文分野：歴史、民俗、藩政資料等 約 7万4千点
  - 美術分野：絵画、工芸写真、彫刻等 約 7千点
- ・年間入館者数 99,458人（平成23年度）
- ・主な事業 常設展示 自然、歴史・民俗、美術の資料を展示（約3千点）  
企画展 年5回程度（自然；1回、人文；1回、美術；3回）  
教育普及活動 野外観察会、講演会、講座、移動博物館、出前講座など  
そ の 他 中国、韓国、ロシアの博物館と交流

3 課題

- ・施設・設備の老朽化
- ・資料増加による収蔵庫の狭隘化
- ・学校教育との連携強化など社会の要請への対応